



山根さん(中央右)と共にとき火を囲む。～小川フィールドにて～

今年最後の里山部会は 20 名の参加がありました。12 月の里山部会の参加人数が多いのは恒例の納会が行われるからと思いたいのですが、実は今回、広島県森づくり県民税のPR活動の取材で、小川フィールドにアンガールの山根さんが来られたからでもあります。

この日は、番組収録のため音出しの制限があったため、落葉を集めて堆肥場に運ぶ作業と、ミニ門松の部材集め、ミニ門松作製に分かれて作業を行いました。

お楽しみの昼食は、見勢井顧問提供イノシシ肉を使ったシシ汁、北田さんがピザ生地から作ったアップルピザと私提供のノンアルコールビール。乾杯する前に、もういただいている人がいたようですが、これも里山部会ならではのアウトホームな場面と思います。

当日は、修道大の学生石川君が参加。彼は福山の自宅から新幹線の始発に乗って芸備線に乗り換え、それでも9時の部会には間に合いそうもないため、友達の家泊り、前乗りでの参加でした。朝礼では、「力仕事はボクに任せて下さい」と、威勢のいい言葉をいただき、その言

葉通り遺憾なく力を発揮して頂きました。また我々は違い行動も速い！

午後からは、午前中の作業の後片付けとミニ門松作製。個人の感性豊かなミニ門松が出来上がりました。

終礼では石川君から、「このようなボランティア活動に初めて参加しましたが、色々な事を教えて頂き、チェーンソーの始動もやらせて頂き、色々な人と出会えて大変ためになりました」と感想を下さいました。最後に明野さんから、白菜を頂き解散となりました。ありがとうございます。

おつかれさまでした！



ミニ門松



ロープワークを教わる石川さん(右)

《来年へ向けて》地域貢献活動を行い、また、倶楽部員の更なるスキルアップが出来る場所作りを目指していきたくと思っています。皆さまのご協力に感謝しながら、2023年もよろしくお願い致します。